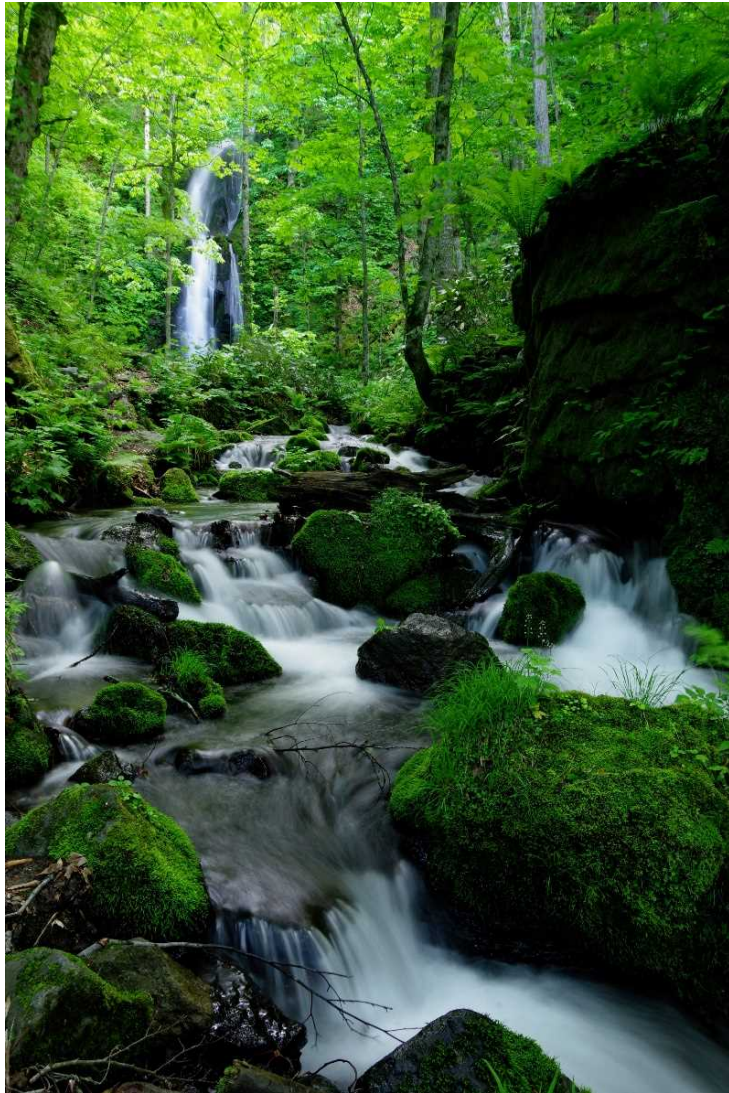


令和5年度版

三八上北の国有林



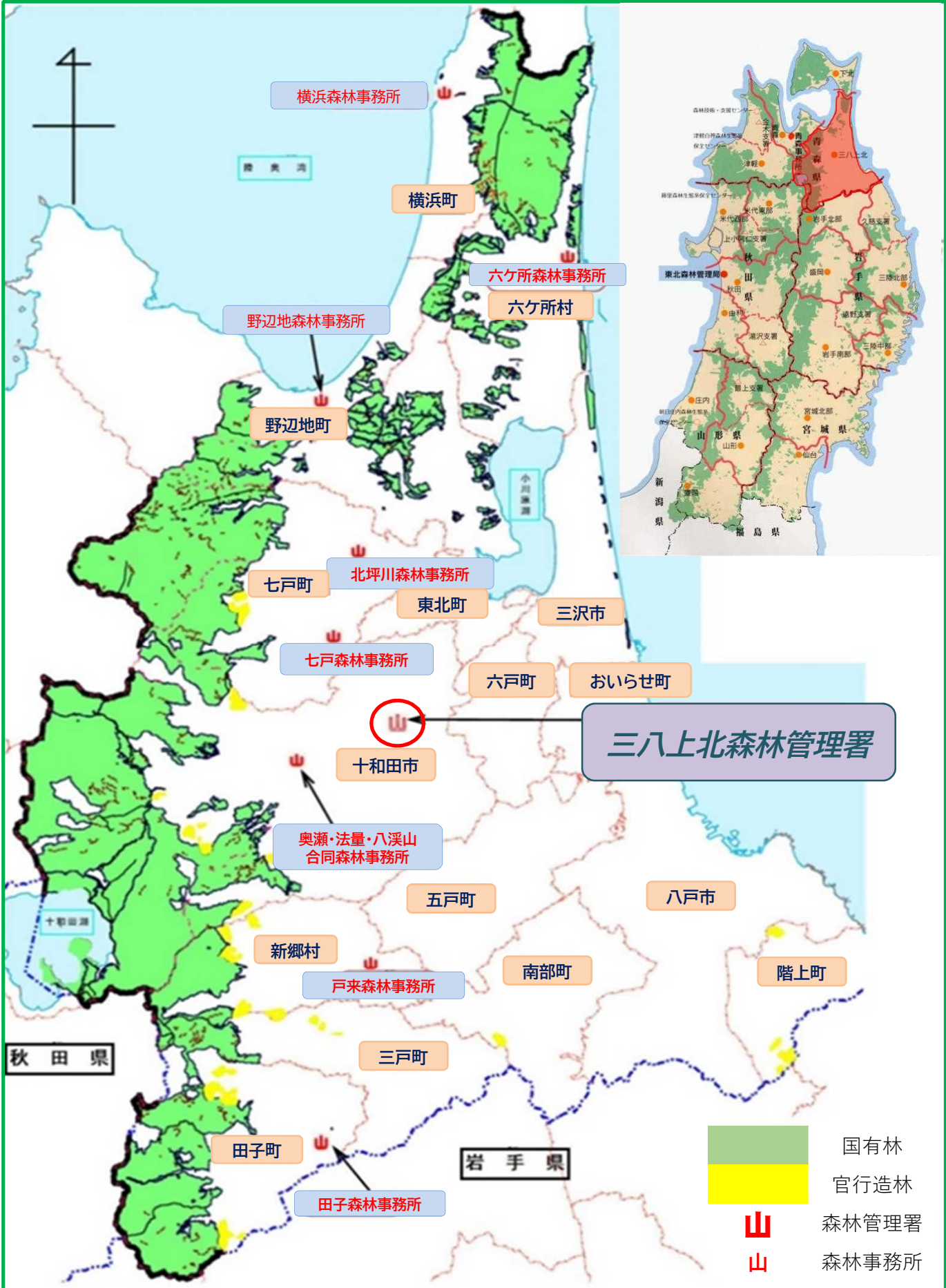
初夏の奥入瀬溪流（十和田市惣辺山国有林）



国民の森林・国有林

林野庁・東北森林管理局
三八上北森林管理署

三八上北森林管理署管内図



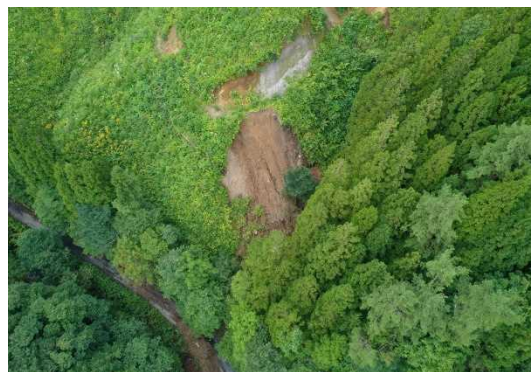
三八上北森林管理署は、次のような取組みを行っております。

I 森林資源の適正な管理・利用

○令和4年8月に発生した大雨による災害で被害を受けた宇樽部国有林及び小国深山国有林について、災害関連緊急治山工事を実施。



宇樽部国有林【十和田市】



小国深山国有林【田子町】

○松くい虫等の病害虫対策とニホンジカ被害対策については、日常の巡視強化による早期発見、被害防止に向け、民有林と連携した取組を推進。



ドローンによる松くい虫等被害調査【南部町】 定点カメラで撮影されたニホンジカ【十和田市】

II 「新しい林業」に向けた取組の展開

○筋刈や下刈回数の軽減等の造林の低減コストに取組。



下刈軽減調査箇所（4年で終了）
【十和田市】



筋刈箇所現地
【十和田市】



多目的造林機械による下刈
【東北町】

○民有林と国有林が連携しグリーン成長に向けて、林業技術者の育成支援を推進。



林業事業者等を対象とした採材検討会
【六ヶ所村】



生産性向上に向けた取組【野辺地町】

Ⅲ 木材産業の国際＋地場競争力の強化

○大型車両の通行が可能な路網整備を引き続き実施。
○安定的に木材を供給する「安定供給システム販売」を実施。



フルトレーラーによる運搬（イメージ）
【六ヶ所村】



極積された丸太【十和田市】

Ⅳ 新たな山村価値の創造

○国有林のフィールドを活用した小学生等対象に森林環境教育を実施。



法奥小学校3年生の森林教室
【十和田市】



法奥小学校6年生の伐採現場見学
【十和田市】

1 国有林の現況

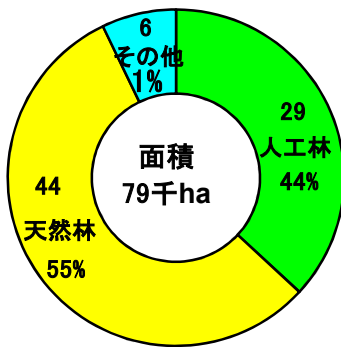
三八上北森林管理署は、青森県の南東部にあり、下北半島の付け根から八甲田山と十和田湖の東側を経て、岩手県境に至る、3市11町2村（三八上北森林計画区）の国有林、約79,000haを管理。

森林は、太平洋岸にある低山帯の防風林から、八甲田山系・高田大岳（1,552m）などの高山帯におよび、スギやアカマツの人工林の比率が4割、ブナやヒバを主体とする天然林が6割。

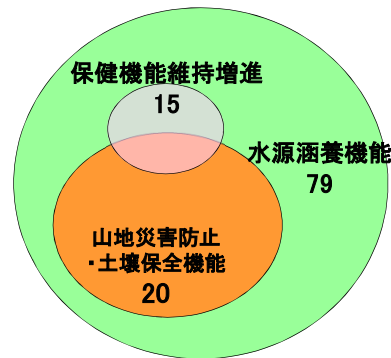
<管内の市町村>

十和田湖と奥入瀬溪流の「十和田市」のほか、「八戸市」、「三沢市」上北郡には、菜の花で地域活性を図る「横浜町」交通の要衝「野辺地町」、東北新幹線の駅がある「七戸町」、風力発電などの「六ヶ所村」、ナガイモの「東北町」のほか「六戸町」、「おいらせ町」、三戸郡にはニンニクの「田子町」のほか、「三戸町」、「新郷村」、「五戸町」、「南部町」、「階上町」。

人工林・天然林別の面積(千ha)



公益的機能別施業森林の内訳 (千ha)



2 森林の取扱い

国有林では森林の役割に応じて「水源涵養」「山地災害防止/土壌保全」「快適環境形成」「保健」の4つの機能に分け、それぞれに適応した森林の管理・経営。

水源涵養機能

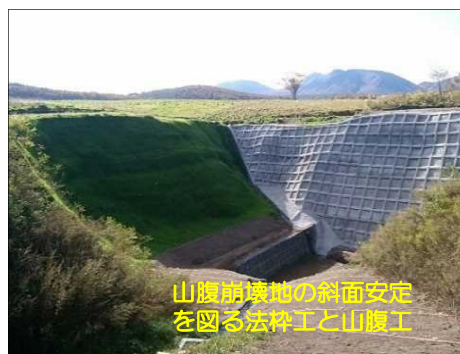
〔草や木の根により、水を蓄える隙間に富んだ土壌を有する森林。〕

山地災害防止/土壌保全機能

〔森林の中に適度な光が射し込み、草や木の根が深く広がって土壌を保持する森林。必要により山地災害を防止する施設を整備。〕

<治山事業>

この地域では、八甲田山など火山性の地質による泥流・地すべり災害、山間部での集中豪雨による土砂災害の危険があることから、地域住民の安全確保のための治山工事や森林整備を実施。



保健・快適環境形成機能

〔自然とのふれあいの場として利用したり、自然景観や歴史的風致、原始的な森林生態系、希少な生物がいる森林。〕

八甲田山、十和田湖、奥入瀬溪流に代表される十和田八幡平国立公園、山岳・湖沼など豊かな自然を背景とした観光資源に恵まれており、四季を通じて大勢の皆さんが訪問。

<レクリエーションの森>

国有林では優れた景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」に指定。

迷ヶ平自然休養林（407ha新郷村・三戸町）のほか、野外スポーツ地域として野辺地スキー場（46ha野辺地町）があり、地元市町村、事業者等により様々な施設が整備。



イチヨウラン



迷ヶ平自然休養林【新郷村・三戸町】



野辺地スキー場野外スポーツ地域【野辺地町】

<森林ボランティア>

国民参加の森林づくりの場として「ふれあいの森」（3.48ha）「社会貢献の森」（3.90ha）を設定し、様々な団体、企業の社会貢献等による森林ボランティアの受け入れを支援。



「ふれあいの森」での活動



「社会貢献の森」での活動

<森林環境教育>

三本木高校附属中学校による「遊々の森」（5.75ha）や、法奥小学校での森林教室など、森林を活用した教育を支援。



法奥小6年生 丸太生産現場を見学



法奥小3年生
「森のたんけん学習」



附属中学校遊々の森
「夢と生命（いのち）の森」

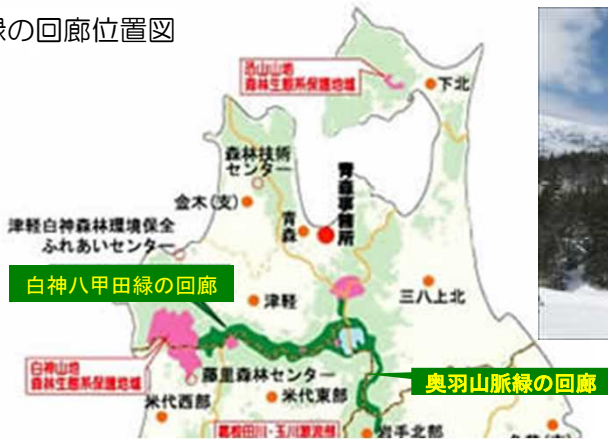
＜貴重な生態系の維持＞

生物多様性の維持も国有林の重要な仕事です。

原生的な自然環境の保全や貴重な野生動植物を保護するため、「八甲田山生物群集保護林」(3,823ha)に指定。

また、野生動植物の移動経路などを確保するため、奥羽山脈から白神山地へ至る70km、7,508haを「奥羽山脈緑の回廊」と「白神八甲田緑の回廊」に指定。

緑の回廊位置図



八甲田・高田大岳
【十和田市】



「奥羽緑の回廊」
案内看板【新郷村】

3 「新しい林業」に向けた取組の展開

民有林と連携した事業の効率化、路網整備の整備、木材の協調出荷等による低コスト化を実現するための森林整備推進協定に基づいた森林共同施業団地の取り組み、コンテナ苗を使用した伐採から地拵、植付までを実行する一貫作業システム、立木販売の売買契約と伐採後の造林事業の請負契約をセットで行う混合契約等を推進。



一貫作業システム【七戸町】



新郷村森林整備推進協定に基づく運営会議
【十和田市】

4 国有林野の活用

国有林野の活用にあたっては、公益的機能の発揮等との調整を図りつつ、農林業をはじめとする地域産業の振興、住民の福祉の向上、再生可能エネルギーの利用による発電等に寄与するため、地方公共団体、地元住民等に対して国有林野の貸付け等実施。



地元要望を受け六ヶ所村に貸付した登山道（ぼんてん山）【六ヶ所村】



風力発電【六ヶ所村】

組 織 (令和5年4月1日現在)

署 長

次 長

- 森林技術指導官
- 森林情報管理官

【森林事務所】 (所在地)	電話番号
奥 瀬 (十和田市奥瀬)	0176-72-2120
法 量 (")	"
八 溪 山 (")	"
野 辺 地 (野辺地町下松ノ木平)	0175-64-2180
北 坪 川 (七戸町森ノ上)	0176-68-2149
七 戸 (" 筑田)	0176-68-2149
横 浜 (横浜町屋敷形)	0175-78-2212
六ヶ所 (六ヶ所村尾駈)	0175-72-2036
田 子 (田子町田子)	0179-32-3311
戸 来 (新郷村戸来)	0178-78-2014
猿 辺 (")	"

【総務グループ】

- 総括事務管理官
 - 主任事務管理官 (総務・管理)
 - 事務管理官 (経理)
 - 主事 (管理・森林ふれあい)

【業務グループ】

- 総括森林整備官
 - 主任森林整備官 (経営・森林ふれあい)
 - 主任森林整備官 (資源活用)
 - 森林整備官 (土木)
 - 森林整備官 (資源活用)
 - 森林整備官 (森林育成)
 - 主任主事 (資源活用・森林育成)
 - 一般職員 (経営・森林ふれあい)

【治山グループ】

- 総括治山技術官
 - 治山技術官

職 員 数	数
本署 (十和田市)	18
森林事務所	6
再任用	3
計	27

三八上北森林管理署案内図



三八上北森林管理署の歴史

- 明治14 (1881) 年 農商務省山林局設置
- 19 (1886) 年 青森大林区署五戸派出所として開庁、明治25 (1892) 年 奥瀬小林区署と改称
- 40 (1907) 年 法量小林区署、五戸小林区署と合併し、三本木小林区署と改称
- 大正 3 (1914) 年 現在地に庁舎建造
- 13 (1924) 年 官制が改められ青森営林局三本木営林署と改称
- 平成11 (1999) 年3月1日 組織再編により三八上北森林管理署と改称し、野辺地営林署を野辺地事務所に、三戸営林署を三戸事務所に改組
- 13 (2001) 年8月1日 組織の再編により野辺地事務所及び横浜森林管理センターの一部を統合し、三八上北森林管理署及び三戸事務所に再編
- 16 (2004) 年3月31日 組織再編により三戸事務所を統合
- 19 (2007) 年2月 庁舎建て替え



林野庁
東北森林管理局
三八上北森林管理署

〒034-0082 青森県十和田市西二番町1-27

電話 0176-23-3551

メール:t_sanpachi@maff.go.jp

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/sanpati/>

